

平成 21 年度事業計画及び収支予算

事業計画

総 説

07 年 8 月アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、世界経済に深刻な影響を及ぼし、現在 100 年に一度と言われる世界同時不況に見舞われている。

東京都の財政もそのあおりを受け、法人税収の大幅な落ち込みによって厳しい運営を余儀なくされ、21 年度当初予算は基金の取り崩しや都債の増発によって辛うじて 4.1%の減にとどまった。

雇用情勢の急速な悪化、消費の落ち込みなど、社会に不安感が横溢する中で、われわれ高齢者を取り巻く環境もさらに厳しさを増していくものと思われる。

本会の重要な財源である不動産の賃貸市場も、引き続き厳しい状況が続くものと予想される。また、昨年実施された昌平橋ビルの耐震診断の結果、今後ビルの建て替え計画を具体化していく必要にも迫られている。

このような状況の中で、本年度は本会の前身である同人会発足から通算して満 60 年、人間で言えば還暦に当たる節目の年を迎えることとなった。このため現在 60 周年記念事業実行委員会を設けて、60 年間の本会の歴史・業績を踏まえた記念事業を行うべく目下準備を進めている。

本年度も、60 周年記念事業はもち論のこと、その他の事業についても一層の効率的執行に努め、会員の福利の更なる向上を図ることとし、平成 21 年度の事業計画を次のとおり策定した。

なお、昨年 12 月から動き出した新公益法人制度については、移行期間が 5 年間あることでもあり、引き続き諸般の情勢をよく見極めながら対応していくこととする。

事業内容

I 会 務

1 定期総会、役員会等の開催

- (1) 定期総会を年 1 回開催し、会の運営の方針を定めるとともに、秋には大会を開き、会員の交流・親睦を図る。
- (2) 会の事業の円滑な運営を図るため、随時、代議員会、理事会、常任理事会、常任役員会を開催し、重要な案件を審議する。また、必要に応じ顧問・相談役会を開催し、会の運営について意見や助言などを求める。

2 会報及び会員名簿の発行

会員相互の交流・親睦に資するため、偶数月に交友会会報を発行して、会員の消息、都区政の動向、会の事業運営の状況、各カルチャー、趣味の会の行事予定等を知らせる

とともに、広く会員からの投稿を募集して編集掲載する。

また、会員名簿を発行して、会員に配布する。

3 会員の慶弔

(1) 長寿者、勲章受賞者に対する祝賀喜寿、米寿、白寿を迎えられた会員をお招きして、その労をねぎらい長寿を祝福する。また、叙勲の榮譽に輝かれた会員をお招きして、祝意を表す。

(2) 物故会員に対する敬弔

物故された会員に対しては、香典を送り、謹んで弔意を表す。

II 行事及び事業

1 施設見学会の実施

会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、春と秋の 2 回施設見学会を実施する。

2 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

例年どおり、1 月に新年賀詞交歓会を開催して、新年を祝うとともに、会員相互の親睦交流を図る。また、2 月には前年中に入会した新会員の歓迎会を開催する。

3 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施する。

4 その他主催事業の実施

会員の要望に即し、随時、パソコン教室、栄養教室、健康講座を開催するほか、囲碁大会、麻雀大会、ゴルフ大会等を実施し、会員の交流と趣味の充実に資する。

5 各種趣味の会の開催及び助成

会員の自主的な運営による趣味等の同好会（謡曲、小唄、短歌、俳句、麻雀、囲碁、ゴルフ等）及び研究会等の活動を奨励して必要な便宜を供する。

6 60 周年記念事業の実施

秋の大会・施設見学会等を 60 周年記念事業として位置づけ、秋の大会には記念講演を実施する。

あわせて、60 周年記念誌「交友」（仮題）を発行する。

III 公益事業

1 社会福祉事業等への助成

本会の社団法人であることの公益性に鑑み、社会福祉事業等を行う団体に対し、寄付及び助成を行う。

2 講演会の開催及び団体に対する後援

(1) 会員等の知識及び教養の向上に資するため、時宜に即した講演会を開催する。

(2) 会員の健康の増進に資するため、財団法人 東京都弘済会主催の「健康増進旅行」「健康増進ウォーキングの集い」等友好団体の活動に対し後援・協力を行った。

IV 交友会会館の維持管理及び事務事業の執行

- 1 会館利用者及び貸借人の快適な利用及び安全と利便に資するため、随時、施設の点検、整備を行い、管理運営に万全を期する。
- 2 大都市退職者団体と友好関係を維持し、情報連絡、協議を行い、会員の福利向上のため、共同して活動する。
- 3 その他、事務局執行体制の整備を図り、事務事業の改善合理化に努める。

平成21年度収支予算					
(収入の部)			(単位：千円)		
科 目			予算額	前年度予算額	増△減
大	中	小 科 目			
		1 会費収入	9,450	9,600	△ 150
		2 事業収入	60,000	50,000	10,000
		3 寄付金収入	400	460	△ 60
		4 雑収入	10,680	10,750	△ 70
		5 積立預金取崩収入	4,000	0	4,000
		当期収入合計(A)	84,530	70,810	13,720
		前期繰越収支差額(B)	20,000	20,000	0
		収入合計(A+B)=C	104,530	90,810	13,720
(支出の部)					
科 目			予算額	前年度予算額	増△減
大	中	小 科 目			
		1 事業費	58,370	51,330	7,040
		1 事業費	21,250	15,200	6,050
		2 寄付金支出	550	550	0
		3 会館維持管理費	36,570	35,580	990
		2 管理費	25,423	25,873	△ 450
		1 人件費	20,031	20,481	△ 450
		2 需用費	4,092	4,092	0
		3 会議費	1,300	1,300	0
		3 特定預金支出	6,100	8,100	△ 2,000
		4 予備費	1,000	1,000	0
		当期支出合計(D)	90,893	86,303	4,590
		当期収支差額(A-D)	△ 6,363	△ 15,493	△ 9,130
		次期繰越収支差額(C-D)(E)	13,637	4,507	9,130
		支出合計(D+E)(F)	104,530	90,810	13,720